

2007年10月12日

報道関係者各位

株式会社ショーケース・ティービー

ナビキャスト、離脱直前のサイト訪問者に「ちょっと待ってもらえる」新機能、 滞在時間に連動したコンテンツを自動表示する新サービスを提供

株式会社ショーケース・ティービー(本社:東京都港区、CEO:森雅弘)は、Webサイトを訪れたユーザーが離脱する前に、ユーザーに合わせた最適なコンテンツへ誘導するサービスを、同社が提供してきた誘導型 LPO サービス「ナビキャスト」の新機能として提供します。

サイト来訪者が注目する位置に「滞在時間に合わせて」自動でバナーや動画コンテンツを表示し、「動き」によってお客様の着目率を高める機能です。滞在時間に連動して次々に新しいコンテンツを表示することで、サイトの離脱率を下げコンバージョンアップを図ります。

■新機能開発の背景■

<サイト成果を高めるために滞在時間を増やすのが重要>

サイトの効果や価値を決定するのはアクセス数(ページビュー)だと言われてきましたが、最近では「滞在時間が重要な指標」(サイト視聴率調査大手の米ネットレイティングス社)として注目されています。広告投資でアクセス数を増やしても、サイト滞在時間が少ないサイトではコンバージョンアップに繋がりません。

<従来型サイトの問題点=限られたスペースと滞在時間>

多くの Web サイトは、「限られたスペース」と「ごく短いページ滞在時間」という条件の下で、目的とするページへ誘導して、コンバージョンを獲得しなければなりません。従来のページ制作や LPO (ランディングページ最適化)ではアクセス時のコンテンツを切り替えることは出来ても、滞在時間でコンテンツを切り分けることは困難でした。

■ナビキャストの新機能「滞在時間連動」は、これらの問題を手間無く解決し、ビジネスチャンスを広げるお手伝いをいたします。■

※サンプルをご覧ください。

<http://www.navicast.co.jp/sample.html>

(1)滞在時間連動機能

ユーザーの滞在時間に合わせて新しいコンテンツを表示します。たとえば、

- ・平均滞在時間の短いページでは離脱する直前にバナーを表示して、別のコンテンツへ誘導することで、サイトの離脱率を下げ、サイト視聴率を高めます。
- ・限られたスペースの中で大量に配置されたバナーは、ユーザーの認知を獲得することが難しいですが、一定の滞在時間後にバナーを表示すれば、認知されやすく高いクリック率を確保できるバナー表示が可能になります。

(2)スクロール追従機能

スクロールとともに重要なコンテンツが視界外になる機会損失を防ぐために、ブラウザ画面をスクロールしても定位置に表示することができます。

(3)移動機能

限られたスペースの中で、アイキャッチ効果の高いコンテンツを配信するために、時間と場所を指定して自由なコンテンツの移動表示を可能にします。

(4)連続表示機能

ページをリロードすることなく次々に異なるコンテンツを連続表示します。表示するタイミングは秒単位で指定でき、さまざまなパターンを設定できます。

この4つの機能はすべて併用することが可能です。組み合わせによりサイト設計の柔軟度は更に増し、さまざまなマーケティングニーズを吸収する事が可能になります。

もちろん、従来の「ナビキャスト」の特長である、「検索キーワード連動」「エリア判別連動」「スケジュール」「A/B テスト」「アクセス元連動判別」「動画再生対応」などは、そのまま併用可能です。また、既にご利用のお客様は、タグの貼り替えやページレイアウトの変更も不要です。

株式会社ショーケース・ティービーについて

企業の Web 販売促進を支援するためのコンテンツ企画、制作、システム構築を行う。ナビキャストによるサイト内誘導の最適化と動画や Flash を活用したリッチコンテンツで Web サイトの費用対効果を向上させる様々なソリューションを提供。

ナビキャスト オフィシャルサイト <http://www.navicast.co.jp/>

ショーケース・ティービー 会社サイト <http://www.showcase-tv.com/>

ナビキャストに関するお問い合わせ先

株式会社ショーケース・ティービー

ナビキャスト事業部

担当: 永田、澤田

TEL : 03-5772-5845 / FAX : 03-5772-5846

E-mail : info@navicast.co.jp